

一般社団法人日本ショッピングセンター協会
2022年度夏季定例記者懇談会



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

Index

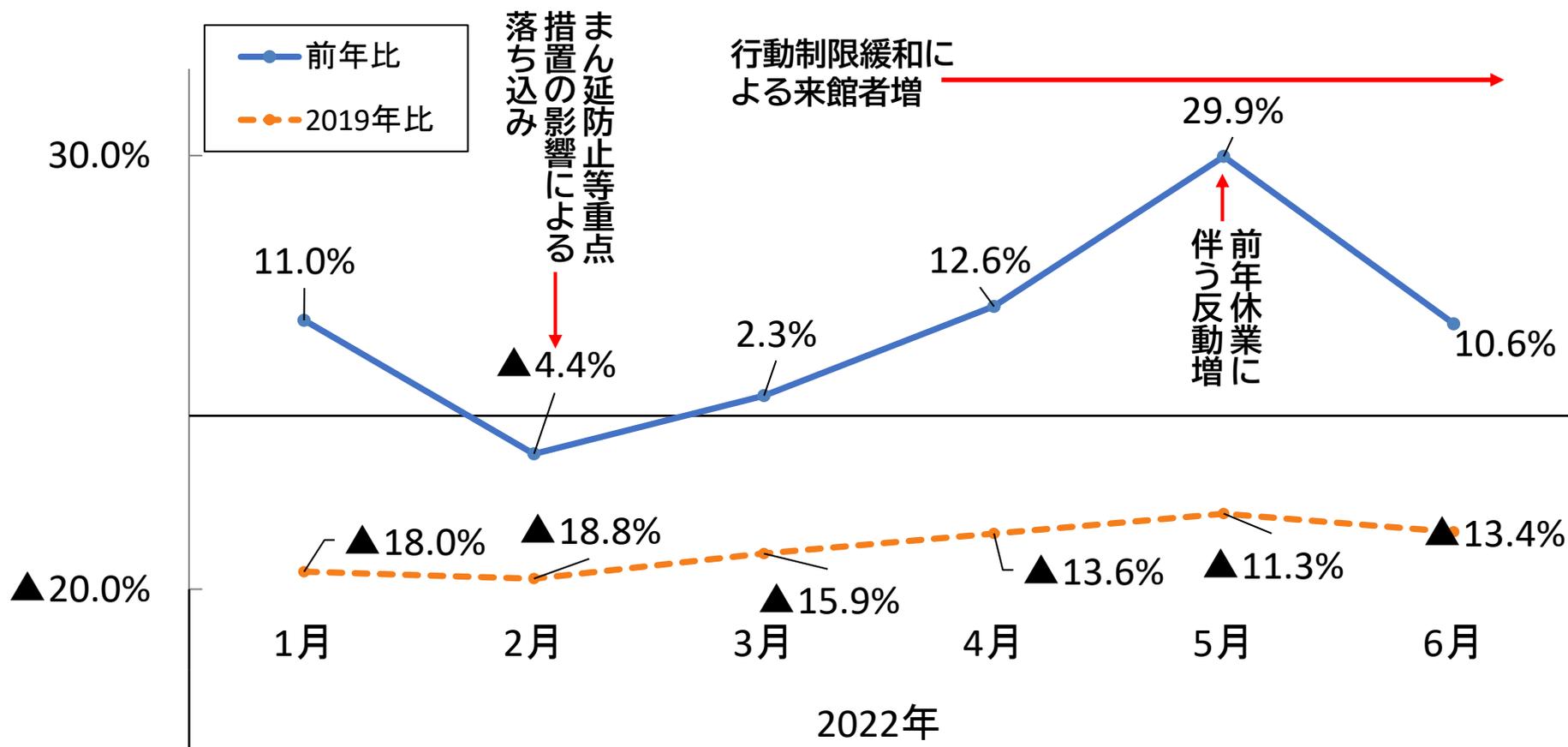
- I. 2022年上期 SC業界の動向
- II. SCの取り組みの傾向
～アフターコロナを見据えて～
- III. 日本ショッピングセンター協会が取り組む
「人材育成事業」
- IV. その他協会活動トピック

I. 2022年上期 SC業界の動向

I. 2022年上期 SC業界の動向

1. 2022年上期（1～6月）SC販売統計調査報告

行動制限緩和による来館者増で、2022年3月以降は売上回復傾向



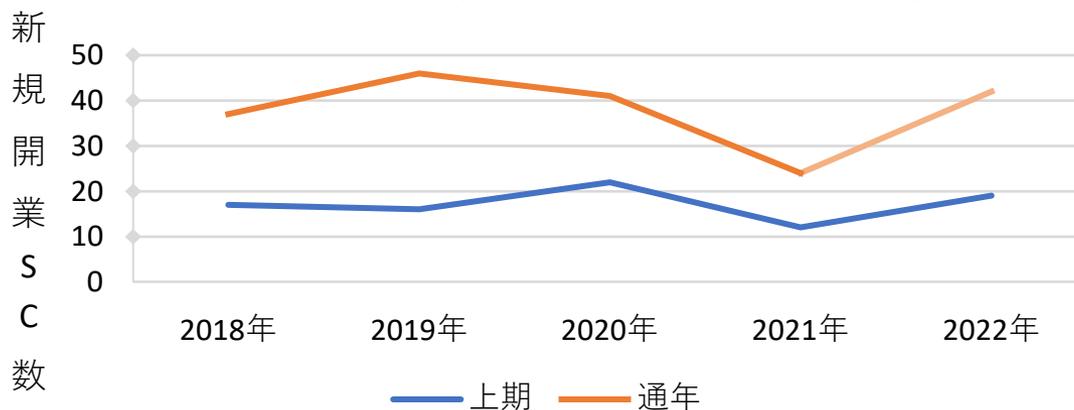
I. 2022年上期 SC業界の動向

2. 2022年上期（1～6月）オープンSCの概要

19SCがオープン。東京は1SC、地方・郊外でのオープンが目立つ

上期(1～6月)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
SC数	17SC	16SC	22SC	12SC	19SC
平均店舗面積	19,923m ²	15,217m ²	15,171m ²	17,999m ²	17,566m ²
平均テナント数	60店舗	39店舗	57店舗	56店舗	49店舗

新規開業SC数推移（2018～2022年）



都道府県別オープンSC数

オープン数	都道府県
4 SC	愛知
3 SC	千葉、福岡
2 SC	埼玉
1 SC	秋田、 東京 、富山、大阪、兵庫、長崎、鹿児島

I. 2022年上期 SC業界の動向

2. 2022年上期（1～6月）オープンSCの概要

オープンSCの主な特徴

『①多世代交流・地域共生』 『②環境配慮』 『③エンターテインメント施設の強化』

キーワード①

『多世代交流・地域共生』

地元行政や企業・団体などと連携し、まちづくりの核として多世代が交流するにぎわい拠点づくり、地域の魅力向上などに取り組む。

キーワード②

『環境配慮』

再生可能エネルギーの積極的な活用、環境に負荷の少ない建材の利用など、脱炭素社会・循環型社会の実現に向けた施設づくりに取り組む。

キーワード③

『エンターテインメント施設の強化』

スポーツ施設、アミューズメント施設、ミュージアムなど体験型エンターテインメント施設を導入・強化する。

例)

イオンタウン旭



- ・官民連携で持続可能な多世代交流拠点づくりを目指す

ルビットタウン刈谷



- ・内装に低環境負荷資材使用
- ・リサイクル活動を積極推進

三井ショッピングパーク ららぽーと福岡



- ・9つの“パーク（広場）”や大型エンタメ施設などを導入

I. 2022年上期 SC業界の動向

3. 2022年下期（7～12月）オープン予定のSC等商業施設

18施設がオープン予定。東京都は1SCのみで、引き続き地方都市中心

< 主なSC等商業施設 >

オープン予定
18施設

三井ショッピングパークららぽーと堺
(11月開業 / 大阪府)



社の街グレース
(9月23日開業 / 岡山県)



IKEUCHI GATE ビル
(秋開業 / 北海道)



ゆめモール西条
(秋開業 / 広島県)



ふかや花園プレミアム・アウトレット
(10月20日開業 / 埼玉県)



II. SCの取り組みの傾向

～アフターコロナを見据えて～

< 3つのキーワード >

1. “楽しむ”SCの復活
2. 地域・社会貢献の進化・深化
3. 将来への投資

II. SCの取り組みの傾向

1. “楽しむ” SCの復活

(1) 屋外空間を生かした“ウェルビーイング”で“楽しい”SC続々

ニューノーマル時代に本格的に対応した施設が目立ち、特に屋外空間の充実により、お客様に“ウェルビーイング”と“楽しさ”を提供するSCが2022年上期に続々オープン。

三井ショッピングパーク

ららぽーと福岡

4/25オープン



THE OUTLETS KITAKYUSHU

4/28オープン



GARDENS CHIHAYA

4/28フルオープン



(2) リアルならではの集客イベント・販促活動が復活

3月21日のまん延防止等重点措置解除以降は、リアルならではの“楽しむ”体験型イベントや販促イベントなどに取り組む（復活させる）SCが増えつつあります。

恵比寿ガーデンプレイス 「アロハ・トーキョー」

約3年ぶり



写真：アロハ・トーキョー実行委員会

ニトリモール東大阪 「ぼくも、わたしもお店屋さん」

約2年半ぶり



写真：若江岩田 きらりプロジェクト

三井ショッピングパーク

ピナウォーク×ららぽーと海老名 「EBINA BIG BARGAIN」

約3年ぶり



II. SCの取り組みの傾向

2. 地域・社会貢献の進化・深化

(1) 時代に合わせた新たな形の地域貢献

これまで積極的に地域貢献活動に取り組んできたSC。最近は動画配信やサブカルチャーなどのコンテンツを組み合わせた新たな形の地域貢献に取り組む事例が増えつつあります。

KAMEIDO CLOCK

「カメテレ」



アリオ、セブンパークなど

「擬人化プロジェクト『棚照結神』」



KITE MITE MATSUDO

「シニア向けeスポーツ教室」



(2) SCのSDGs／サステナビリティ活動、拡大期へ

全国各地のSCでSDGs／サステナビリティ活動が本格化。さまざまな形の取り組みが増えつつあります。

アトレ品川

「フードドライブ」



NU茶屋町

「STAND PARK」



イオンレイクタウンkaze

「byeASU」



II. SCの取り組みの傾向

3. 将来への投資

(1) 新技術を活用してSCの可能性を広げる

RaaS、メタバース、NFTなど新たな技術を活用し、オフライン・オンラインの融合によるSCの可能性を広げる取り組みが増えつつあります。

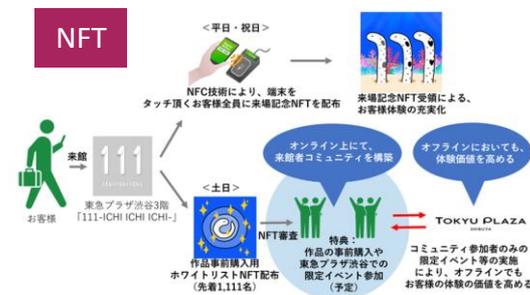
三井ショッピングパーク

ららぽーとTOKYO-BAY



リアルとメタバースの2つの空間でスマート玩具を体験できるストアを期間限定で開設

東急プラザ渋谷



NFT配布によるオンライン上のコミュニティ構築、DXによる空間の新たな体験価値創造の検証のための実証実験を実施

SHIBUYA109



メタバース上に専用の土地「SHIBUYA109 LAND」を開設し、オリジナルNFTアイテム販売などを展開予定

(2) 多様な企業と連携した新事業創造

大手ディベロッパーを中心に、スタートアップなど多様な企業と連携し、革新的なビジネスやサービスを生み出すことを目的とした取り組みが本格化しています。

■ディベロッパーにおける主なスタートアップ共創事業等 (オープンイノベーションプログラム、CVCなど)

31 VENTURES
三井不動産のベンチャー共創事業



イオンモール
共創プログラム

TOBU
OPEN INNOVATION
PROGRAM

BRICKS
FUND TOKYO
by mitsubishi estate

II. SCの取り組みの傾向 協会としてのサポート

当協会では、こうしたSCの最新情報やSC運営などに役立つ情報を、協会の各種事業を通じて協会会員などSC業界関係者に発信している

協会事業の3つの柱

情報の収集・発信

SC JAPAN TODAY
SC白書
各種動向調査・報告
公共政策 etc.



研鑽と交流

SCビジネスフェア
SCビジネスミーティング
支部活動 etc.



人材育成

セミナー、通信教育
SCアカデミー、SC経営士
接客ロールプレイング
接客マイスター etc.



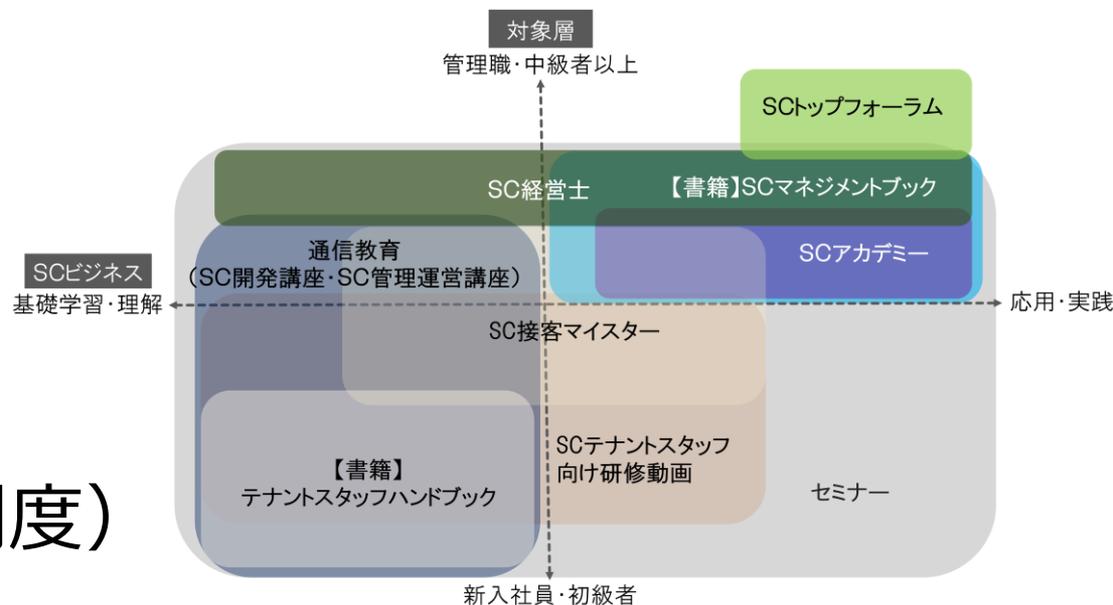
III. 日本ショッピングセンター協会 が取り組む「人材育成事業」

Ⅲ. 日本ショッピングセンター協会が取り組む 「人材育成事業」

協会設立以来、SC業界の人材育成に重きを置き、これまでSCアカデミーやセミナー、通信教育などの各種プログラムを実施し、業界の人材育成に寄与

人材育成プログラム

- ・ セミナー
- ・ SCアカデミー
- ・ 通信教育
- ・ SC経営士（資格制度）



テナントスタッフ向け

- ・ SC接客ロールプレイングコンテスト
- ・ SC接客マスター（資格制度）

1. セミナー

**SCの運営や開発の実務に役立つ多彩な講座
年間40～50本をリアルとWEBで提供し、時流に沿ったテーマをより強化**

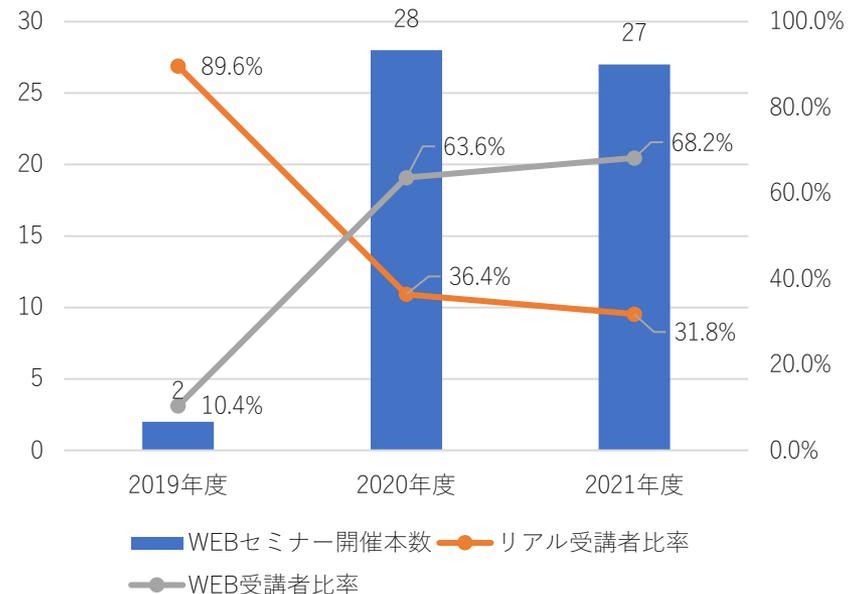
経験豊富なSC経営士や実際の現場で活躍する実務家などを講師として招き、新入社員から経営者層までを対象に、SC実務に役立つ多彩な講座を、年間40～50本をリアルとWEBで提供しています。また、スクール形式だけではなく、最新SCの現地視察などのプログラムも用意しています。

【参考】時流に沿ったテーマのセミナー例

- 『新時代対応セミナー～SC業界におけるメタバース活用の可能性と商機を探る～』
- 『SDGsセミナー～SDGs最前線から学ぶ～』
- 『事業継続計画(BCP)策定手法を学ぶセミナー～頻発する自然災害時などに備える～』

など

【参考】2019～2021年度の同一セミナーのリアル・WEB併催時の開催本数と受講者比率



2. SCアカデミー

**次世代を担うSC経営者層の育成を目指すビジネススクール
第16期（2022年度）からは、ハイブリッド形式での講義等を本格導入**

ハイブリッド形式での講義などにより、北は北海道から、南は沖縄までの受講生が勉学に励み、また交流ができる環境を提供します。
合宿研修や各コースの修了日には、ほぼ全ての受講者が東京に集い、懇親も深めることができます。

<第16期SCアカデミー（受講者数：42名）の様子>



Ⅲ. 日本ショッピングセンター協会が取り組む人材育成事業

3. SC経営士会

当協会のシンクタンクの役割を担う組織
2022年度は、将来のSC業界の発展に資する研究活動を推進

SC経営士会とは

「SC経営士」として研鑽と交流を図るとともに、協会活動などを通じてSC業界や地域社会の発展のために各種事業、提言を行うことを目的に発足した組織

2022年度は、当協会のシンクタンクの機能の役割を担いながら、研究活動として、「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマに将来のSC業界の発展に資する研究活動を進めています。

- 「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」に関する議論の様子
※当協会HP「SC経営士会」ページにて動画配信中



第2回 テナントから見た今後のSCの在り方

- SC経営士が講師となって大学生にSCの基礎知識や魅力を伝える「SC冠講座」（年2校）の様子



※2020年度後期「東京電機大学大学院」

IV. その他協会活動トピック

1. 日本SC大賞・地域貢献大賞
2. 売上報告の効率化に向けた提言
3. 第47回日本ショッピングセンター全国大会
SCビジネスフェア2023
4. 第28回SC接客ロールプレイングコンテスト

IV. その他協会活動トピック

1. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞

日本SC大賞とは

(2004年創設)

今後のSCのあり方や社会的役割を示唆するSCを顕彰することによって、SC業界の一層の発展に寄与することを目的に創設

➡ 金賞受賞SCには「経済産業省 商務・サービス審議官賞」を授与

地域貢献大賞とは

(2008年創設)

当協会が策定した地域貢献ガイドラインを基に、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを顕彰する目的に創設。特に優れたSCには、協会2代目会長でSC業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名を冠した「倉橋良雄賞」を授与。

➡ 特に優れたまちづくりに貢献しているSCには「国土交通省都市局長賞」を授与

<参考/前回受賞>

第8回日本SC大賞・金賞

二子玉川ライズ・ショッピングセンター



第6回地域貢献大賞（倉橋良雄賞）

ポップタウン住道オペラパーク



IV. その他協会活動トピック

1. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞

優れたSCを顕彰する『日本SC大賞・地域貢献大賞』、4年振りの選考
2022年7月よりエントリーSCを募集開始し、2023年4月に各賞が決定！



< 選考対象と評価期間 >

選考対象：2021年12月末までにオープンした3,169SC

評価期間：2018年7月～2022年6月までの4年間

< 選考スケジュール >

募集：7月1日（金）～8月31日（水）

選考：【一次】9～11月/全国7支部にてノミネートSC選出、【二次】12月/選考委員会にて最終ノミネートを選出

決定：2023年4月、理事会承認を得て発表

評価基準を一部改訂し、
「SDGs・サステナビリティ・まちづくり」がキーポイントに

IV. その他協会活動トピック

2. 売上報告の効率化に向けた提言

SCで働く従業員が生き生きと働ける環境を実現するため、テナントからディベロッパーへの売上報告業務効率化に向けた提言を発表



売上報告業務は、テナント、ディベロッパー双方で課題意識が高い業務であることが明らかに提言では、テナント・ディベロッパーそれぞれの課題を整理および国内外の効率化事例を紹介

SC業界が一丸となって売上報告業務の効率化に取り組みます

IV. その他協会活動トピック

第47回日本ショッピングセンター全国大会

3. SC ビジネスフェア2023

協会創立50周年記念大会として開催。

『持続可能なSCへの挑戦』をテーマに、さまざまなコンテンツを企画中！

会期：2023年1月25日(水)～27日(金)

会場：パシフィコ横浜

SCビジネスフェアとは

SC関係者が一堂に集まる業界唯一の商談展示会です。



👁️注目のコンテンツ

①体験型の50周年記念ゾーン **NEW**

メタバースやeスポーツ。最新のデジタルアトラクションから次世代空間を体験。新たな50年の始まりを体感！

②NEXT S C 新規事業提案コンテスト **NEW**

S Cの新たな50年を創る事業を会場からピッチコンテストで提案。学生スタートアップから企業内ベンチャーを対象に幅広く公募！

ぜひご期待ください！

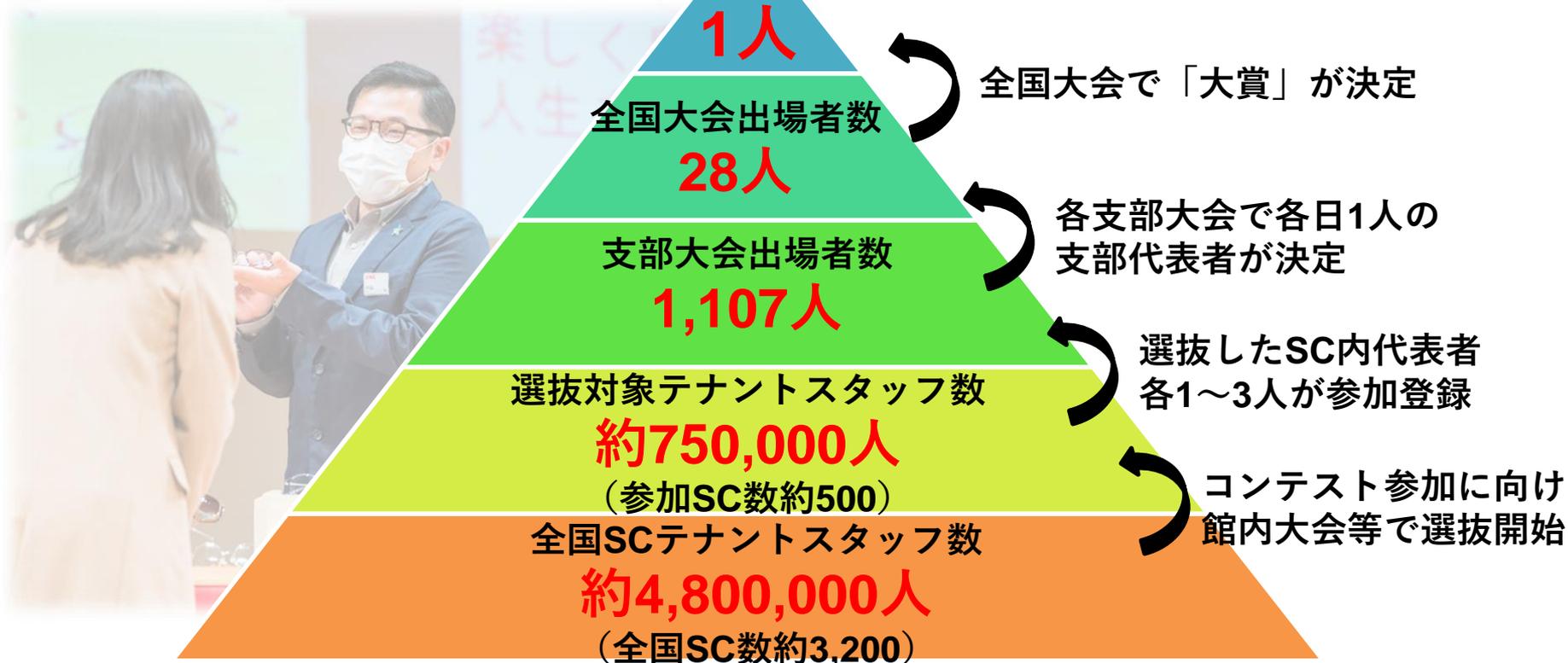
IV. その他協会活動トピック

4. 第28回SC接客ロールプレイングコンテスト

全国のSCで働くテナントスタッフ約480万人の頂点となる
「大賞」＝SC接客日本一を目指して
～支部大会は3年ぶりに有観客で開催、ライブ配信も予定～

【支部大会】9月よりスタート！ 【全国大会】2023年1月27日（金）

大賞（経済産業大臣賞）＝SC接客日本一



質 疑 応 答

※会社名、お名前、ご質問の順にお願い致します

ご参加いただき ありがとうございました

※本日の内容を記事にしていた場合は、
協会事務局まで掲載紙・誌をお送りください。



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会